

基山町議会
議長 重松一徳様

総務文教常任委員会
委員長 末次 明

所管事務調査報告書

本委員会は、所管事務の調査を終了したので、その結果を報告します。

記

1 調査事項及び調査期日

- (1) 防災倉庫について
- (2) 総合公園多目的運動場西側休憩所について
- (3) 総合公園多目的運動場の管理について

概要説明及び現地視察 令和3年5月11日（火）

2 調査結果

基山町においては近年、豪雨災害が増加傾向にあり、防災用備品の種類、保有量も増えている。コロナ禍の中では、より安心・安全な防災用備品を保有することが求められており、新設の防災倉庫の現地確認を行った。

また、健康づくりで多目的運動場を利用する町民も増えており、競技の観覧席としてだけでなく、利用者の休憩所、避難所として多目的運動場西側斜面に新設された休憩所の現地視察を行った。

(1) 防災倉庫について

令和3年4月から運用開始となった町民会館東側の防災倉庫は、視察時は空のラックに今後搬入する防災備品の名前が表示され、豪雨発生時期前の5月末までに搬入するとの説明を受けた。この事業は新たな災害対応スタイル構築事業として新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用し、建物は設計含め21,903,200円の事業費で外装も含め頑丈にできている。

総務企画課から今後は庁舎4階の乾パンや飲料水などの備蓄食料品倉庫（人口の5%の一日分）、消防署基山分所横の水防倉庫を使い分けしていくことと、災害発生後は国県からの補給を受け入れていく対応も整えており、各民間企業

と災害時の協定を結んでいるとの説明を受けた。

当委員会としては、基山町の防災に対する取り組みを「防災備品一覧」、「運用方法及び今後の計画」、「民間企業との協定一覧」について明確に町民に示して安心していただくとともに、町民の要望を聴き、検討するよう提案した。

(2) 多目的運動場西側休憩所について

休憩所は、多目的運動場利用者に対し運動中に起こる熱中症や急な雷雨等、様々な気候変化に対応できる屋根付き施設である。新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用し、施工面積129.21平方メートルの鉄骨造で、休む部分はコンクリート5段の階段式形状となっている。

また、台風や地震にも耐えられるよう頑丈な構造になっている。

総合公園多目的運動場は、日頃から町内の保育園、幼稚園、小中学生やスポーツ団体も利用しており、避難所としての役割も果たしているとの説明を受けた。

当委員会としては、施設を広く町民に広報するとともに、総合管理計画、整備計画は各課からの意見を聞きながら、経費面を考慮して公共施設の整備を行うように要請した。

(3) 総合公園多目的運動場の管理について

総合公園多目的運動場としての機能を十分に発揮し、町民に親しまれる公園としなければならない。そのためには幼児から高齢者までが使い勝手の良い施設とするとともに周辺住民への配慮、そして、利用者のマナー向上を推進しなければならない。

当委員会としては、公園内トイレの手すり設置を要望するとともに、グラウンド砂塵の飛散と植栽の落ち葉対策、公園、グラウンド利用団体のマナー順守を徹底するよう提案した。